



ほっこり

甲府市立北新小学校
2016. 1. 26
No. 10
発行：校長室

3学期が始まる

明けましておめでとうございます。
皆様おそろいで、新しい年を元気に迎えられたことと思います。
皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

始業式の中で、代表の子どもたちが3学期の頑張りたいことを発表しました。

- 1年生：無言清掃をがんばりたい。サッカーをがんばりたい。
- 4年生：あいさつをしっかりする。いい姿勢で人の話を聞く。友だちと仲良く過ごす。
- 6年生：社会をがんばる。吹奏楽をがんばる。卒業式の練習（歌、呼びかけ）をがんばる。

私からは、「恕」（思いやり）の心を成長させて欲しいと話をしました。

ある学級では、「今だからできること、今しかできないことを大切にしよう」と話をしていました。

目標が一つでも多く達成され、一歩前進できるように保護者の皆様と共に見守っていきたく思います。よろしくお祈りいたします。

次のような話に出会いました。

あるとき、仏様が道ばたで立っていると、一人の男がたくさんの荷物を積んだ車を引いて通りかかりました。しかし、荷車はぬかるみにはまってしまい、どんなに引いても抜け出すことはできません。男は、汗びっしょりになって苦しんでいました。しばらくその様子を見ていた仏様は、ちょっとだけ指でその荷車に触れました。その瞬間、荷車はすっかりぬかるみから抜け、男はカラカラと荷車を引いていきました。男は仏様の指の力のおかげでぬかるみから抜け出したことを永遠に知りません。自分が努力して、自分の力で抜け出したという自信と喜びで、その荷車を引いたと思い続けています。

支援の仕方はいろいろありますが、仏様のような後押しも大切かと思えます。

新年親子の集い

1月9日（土）に育成会主催の「新年親子の集い」が開催されました。今年もたこ揚げをしたり、羽根つきをしたり、こまをまわしたり、紙飛行機を飛ばしたり、もちつきをしたり、正月遊びを存分に楽しんでいました。地域を愛する子どもが増えたような気がします。ずっと続いて欲しい行事です。育成会の皆様ありがとうございました。



やり続けることの大切さ

1月19日（火）に北杜市にある藪内正幸美術館の館長藪内竜太先生の講演会がありました。1～3年生が2校時に、4～6年生が3校時に藪内先生のお話を聞きました。「絵かきさんになりたい人はどうすればなれるでしょうか？」の問いかけから話が始まりました。藪内竜太先生の父である



藪内正幸動物画家は、「動物が大好きで、とにかく動物の絵をいっぱい描いていた」と話されました。「ライオンの絵がうまくかけないと、動物園へ行き、しっかり覚えるために、ライオンを1日中観ていた」「借りた図鑑の本をひたすらかき写していた」「小学3年生の時、動物のことをもっと知りたくなり、学者さんに手紙を送った」などの、いろいろなエピソードを話されながら、「好きなことをみつけ、時間をかけてやり続けてほしい」と結んでいました。やり続けることの大切さを学びました。

ありがとうございました

17日の夜半から雪になり、18日の子どもたちの登校が心配されましたが、早朝より子どもたちが安全に登校できるようにと保護者や地域の方々が雪かきをしてくださいました。ありがたいことです。おかげで無事に登校することができました。休み時間、子どもたちは、思いっきり雪を楽しんでいました。大人は大変な1日になりましたが、子どもたちは最高の1日になりました。



はじまりました

20日（水）に依田先生による第1回目の合唱指導が行われました。3校時に5年生、4校時に6年生の指導です。6年生には、「息つき」と「アクセント」について指導してくださいました。「こんなところに気をつけて」「こんな歌い方はどうかな」などの指導のもと、歌声がどんどん変わっていきます。これから何回か指導をしていただきます。卒業式での合唱が楽しみです。



力を合わせたスポーツ集会

22日（金）に体育委員会が計画したスポーツ集会が開催されました。今年は、「長縄チャレンジ大会」「転がしドッジボール」の2つを行いました。どのチームも力を合わせて頑張っていました。少し悔しい思いをした児童もいたかもしれませんが、この種目をまたやってみたいと全員の子どもたちが思ったに違いありません。運動好きの子どもたちが増えました。次回のスポーツ集会が楽しみです。

